

# 平成29年度

## 職業訓練指導員試験の受験案内

岩手県

この試験は、職業能力開発促進法第30条の規定に基づき、職業訓練指導員としての資格を得るために行うもので、合格者には、申請により職業訓練指導員免許証が交付されます。

(なお、この試験は公共職業能力開発施設の指導員採用試験ではありません。)

### ■特典

- ・免許取得者は、関連職種の技能検定を受検するとき、1・2・3級及び単一等級とも学科試験が免除されます。
- ・自動車整備科の合格者は、自動車整備士技能検定規則による2級又は3級の技能検定を受検するとき、学科試験（保安基準その他の自動車整備に関する法規の科目を除く。）及び実技試験の全部が免除されます。

### 1 実施職種

#### (1) 全職種

学科試験のうち、指導方法のみについて実施（実技及び関連学科試験免除者に限ります。)

### 2 試験の期日及び会場

(1) 期 日 平成29年8月27日（日）午前10時から

(2) 会 場 岩手県立産業技術短期大学校 矢巾キャンパス  
矢巾町大字南矢幅第10地割3番地1（裏面、試験会場案内のとおり。)

### 3 試験の科目

実施職種	学科試験の科目
全職種	指導方法 (職業訓練原理、教科指導法、訓練生の心理、生活指導及び職業訓練関係法規)

### 4 受験資格

職業能力開発促進法施行規則の規定により、実技試験及び学科試験の関連学科の全部が免除される者。(別表1～別表3参照)

ただし、次のいずれかに該当する方は、試験を受けることができません。

- (1) 成年被後見人又は被保佐人
- (2) 禁錮（きんこ）以上の刑に処せられた者
- (3) 職業訓練指導員免許の取消しを受け、その取消しの日から2年を経過しない者

### 5 受験申請の手続

【別表1】 受験資格及び免除の範囲

※網掛け部の経歴の方は、本県において指導員試験を受験することができます。(網掛け部以外でも一部受験可の場合有り。)その他の経歴の方も、他の一部の都道府県において受験することができますので、ホームページ等でご確認下さい。

受験資格(主なもの)	必要な実務経験年数	免除の範囲			
		実技	学科		
			系基礎学科	専攻学科	指導方法
免許職種に関し技能検定1級又は単一等級合格者(バルコニー施工及び電子回路接続を除く)	-	○	○	○	
免許職種に関し技能検定2級合格者	-	○			
免許職種に関し技能検定2級合格者で (1) 大学又は高等専門学校において関連学科を修めて卒業し、その後必要実務経験年数を有する者 (2) 応用課程の高度職業訓練において関連学科修めて修了した者 (3) 専門課程の高度職業訓練において関連学科修めて修了し、その後必要実務経験年数を有する者	下記参照	○	○	○	
●大学卒業	1年		○	○	
●高等専門学校卒業	2年		○	○	
●短期大学卒業	2年				
●職業課程の高等学校卒業	3年				
高等学校及び中等教育学校の卒業	5年				
長期課程の指導員訓練修了	1年				
●応用課程の高度職業訓練修了	-		○	○	
●専門課程の高度職業訓練修了	1年		○	○	
●普通課程の普通職業訓練修了	2年				
●専修訓練課程の普通職業訓練修了	3年				
●短期課程の普通職業訓練(700時間以上)修了	3年				
●専門課程(2年)の専修学校卒業	3年				
●専門課程(3年)の専修学校卒業	2年				
●高等課程若しくは一般課程(2年)の専修学校又は各種学校(2年)卒業	4年				
●高等課程若しくは一般課程(3年)の専修学校又は各種学校(3年)卒業	3年				
実務経験のみ(免許職種に関した実務経験)	8年				
免許職種に関し 職業訓練指導員試験において	実技試験の合格者	-	○		
	系基礎学科の合格者	-		○	
	専攻学科の合格者	-			○
	指導方法の合格者	-			
他職種の職業訓練指導員免許の交付を受けた者	-				○
他の法令による受験資格及び免除の範囲	-		別表2参照		

- ※1 ●印は免許職種に関する学科を履修していること。
- ※2 ○印は免除される範囲。
- ※3 実務経験必要年数とは、修了(卒業)後に当該免許職種に関した実務経験年数です。

【別表2】 他の法令による受験資格及び免除の範囲

※下表の試験免除資格取得者は、左欄の免許職種について、本県において指導員試験を受験することができます。

免許職種(主なもの)	試験免除資格	免除の範囲			
		実技	学科		
			系基礎学科	専攻学科	指導方法
溶接科	ボイラー及び圧力容器安全規則による特別ボイラー溶接士免許を有する者	○	○	○	
電子科	電波法による第一級陸上無線技術士の免許を有する者	○	○	○	
自動車整備科	自動車整備士技能検定規則による1級大型自動車整備士、1級小型自動車整備士、1級二輪自動車整備士、2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士、若しくは2級二輪自動車整備士、平成12年省令改正前の1級四輪自動車整備士又は昭和63年省令改正前の2級三輪自動車整備士の技能検定の合格証書を有する者	○	○	○	
自動車車体整備科	自動車整備士技能検定規則による自動車車体整備士の技能検定の合格証書を有する者	○	○	○	
航空機整備科	航空法による1等航空整備士若しくは2等航空整備士又は航空工場整備士の資格についての航空従事者技能証明書を有する者	○	○	○	
測量科	測量法による測量士の試験の合格証書を有する者	○	○	○	
ボイラー科	ボイラー及び圧力容器安全規則による特級ボイラー技師の免許を有する者又は電気事業法施行規則によるボイラータービン主任技術者の免状を有するもの	○	○	○	
電気通信科	電波法による第1級総合無線通信士の免許を有する者	○	○	○	
臨床検査科	医師法による医師国家試験、歯科医師法による歯科医師国家試験又は獣医師国家試験の合格証書を有する者	○	○	○	
事務科	公認会計士法による公認会計士試験の第2次試験若しくは第3次試験又は税理士法による税理士試験に合格したことを証する書面を有する者	○	○	○	

上記以外の指導員免許職種については、職業能力開発促進法施行規則別表第11の3に定めるとおりです。

※1 ○印は免除される範囲。

【別表3】 職業訓練指導員免許職種と技能検定の対応表

免許職種	技能検定職種	免許職種	技能検定職種
園芸科	園芸装飾	石材科	石材施工
造園科	造園	麺科	製麺
森林環境保全科	造園	パン・菓子科	パン製造、菓子製造
鉄鋼科	金属溶解	食肉科	ハム・ソーセージ・ベーコン製造
鑄造科	金属溶解、鑄造、粉末冶金、ダイカスト	水産物加工科	水産練り製品製造
鍛造科	鍛造	発酵科	みそ製造、酒造
熱処理科	金属熱処理、金属材料試験	建築科	建築大工、枠組壁建築、バルコニー施工、サッシ施工
塑性加工科	金属プレス加工、工場板金、建築板金、鉄工		
構造物鉄工科	鉄工	枠組壁建築科	建築大工、枠組壁建築、バルコニー施工
金属表面処理科	めつき、アルミニウム陽極酸化処理鉄工	とび科	とび
機械科	機械加工、放電加工、金型製作、仕上げ、機械検査、機械保全、油圧装置調整、テクニカルイラストレーション、機械・プラント製図、切削工具研削	建設科	型枠施工、鉄筋施工、コンクリート圧送施工
		屋根科	かわらぶき
		建築板金科	建築板金
電子科	電子回路接続、電子機器組立て、半導体製品製造、自動販売機調整	防水科	防水施工
		サッシ・ガラス施工科	カーテンウォール施工、ガラス施工、サッシ施工
電気科	電気機器組立て、自動販売機調整、電気製図	畳科	畳製作
自動車製造科	内燃機関組立て	インテリア科	内装仕上げ施工、表装
鉄道車両科	鉄工、鉄道車両製造・整備	床仕上げ科	内装仕上げ施工
造船科	鉄工	表具科	表装
時計科	時計修理	左官・タイル科	左官、タイル張り
光学ガラス科	光学機器製造	築炉科	築炉
光学機器科	光学機器製造	ブロック建築科	ブロック建築、エーエルシーパネル施工
製材機械科	切削工具研削	熱絶縁科	熱絶縁施工
内燃機関科	内燃機関組立て	冷凍空調機器科	冷凍空調調和機器施工
建設機械科	建設機械整備	配管科	配管
農業機械科	農業機械整備	住宅設備機器科	配管
縫製機械科	縫製機械整備	さく井科	さく井、ウエルポイント施工
染色科	染色	土木科	ウエルポイント施工
ニット科	ニット製品製造	建築物設備管理科	ビル設備管理
洋裁科	婦人子供服製造	化学分析科	化学分析
洋服科	紳士服製造	公害検査科	化学分析
縫製科	布はく縫製	貴金属・宝石科	貴金属装身具製作
和裁科	和裁	印章彫刻科	印章彫刻
寝具科	寝具製作	塗装科	塗装、塗料調色
帆布製品科	帆布製品製造	広告美術科	広告美術仕上げ
木型科	木型製作	義肢装具科	義肢・装具製作
木工科	機械木工、家具製作、建具製作	写真科	写真
工業包装科	工業包装	日本料理科	調理
紙器科	紙器・段ボール箱製造	中国料理科	調理
製版・印刷科	製版、印刷	西洋料理科	調理
製本科	製本	フラワー装飾科	フラワー装飾
プラスチック製品科	プラスチック成形、強化プラスチック成形	メカトロニクス科	電気機器組立て
陶磁器科	陶磁器製造	建築物衛生管理科	ビルクリーニング

(1) 受付期間

平成29年6月5日(月)から7月7日(金)までとします。なお、受験申請書類を郵送する場合は、必ず書留郵便としてください。この場合、7月7日(金)消印のものまで受け付けます。

(2) 申請書の提出先

〒020-8570 岩手県商工労働観光部雇用対策・労働室(郵便番号のみで届きます。)

(3) 受験申請に必要な書類

- ① 受験申請書(裏の履歴書を含む)
- ② 受験資格を証する書面(卒業証明書、実務経験証明書等)
- ③ 試験の免除を受けようとする者は免除の要件を証明する書面(合格証書の写し等)

(4) 受験手数料

① 学科試験 3,100円

ただし、試験のすべてについての免除を受けることができる者は受験手数料は不要です。

② 受験手数料の納付は、受験申請書に受験手数料相当額の岩手県収入証紙を貼付してください。

(消印しないこと。)

(5) 受験票の交付

受験申請書を受理したときは、後日受験票を交付します。試験当日、受験票を受付に提示してください。

6 合格発表

平成29年9月8日(金)

岩手県庁前掲示板に掲示し、合格者あて通知します。その他、岩手県雇用対策・労働室のホームページに掲示します。

※ 岩手県雇用対策・労働室ホームページは以下のとおりです。

<http://www.pref.iwate.jp/koyouroudou/index.html>

岩手県 雇用労働



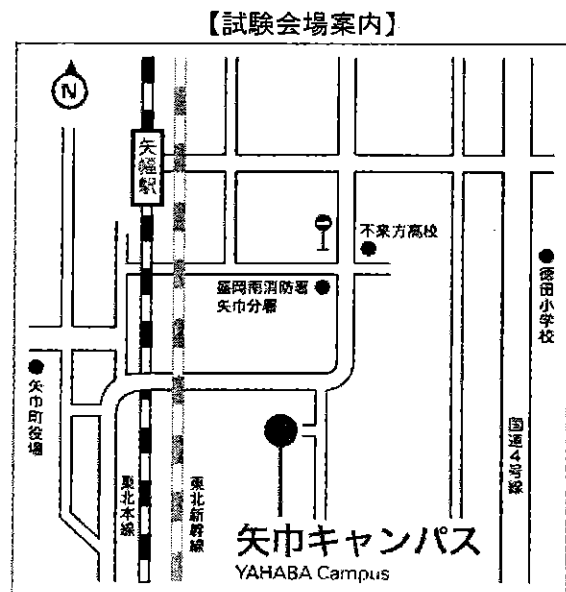
7 その他

- (1) 受験に関する詳細(参集時間等)については、後日受験者あて通知します。
- (2) この試験について不明な点は、下記に問い合わせてください。

〒020-8570 盛岡市内丸10番1号

岩手県商工労働観光部雇用対策・労働室

労働担当 電話 019-629-5583(直通)



JR 東日本 東北本線 盛岡駅より矢幅駅まで12分  
JR 東日本 東北本線 矢幅駅より徒歩15分